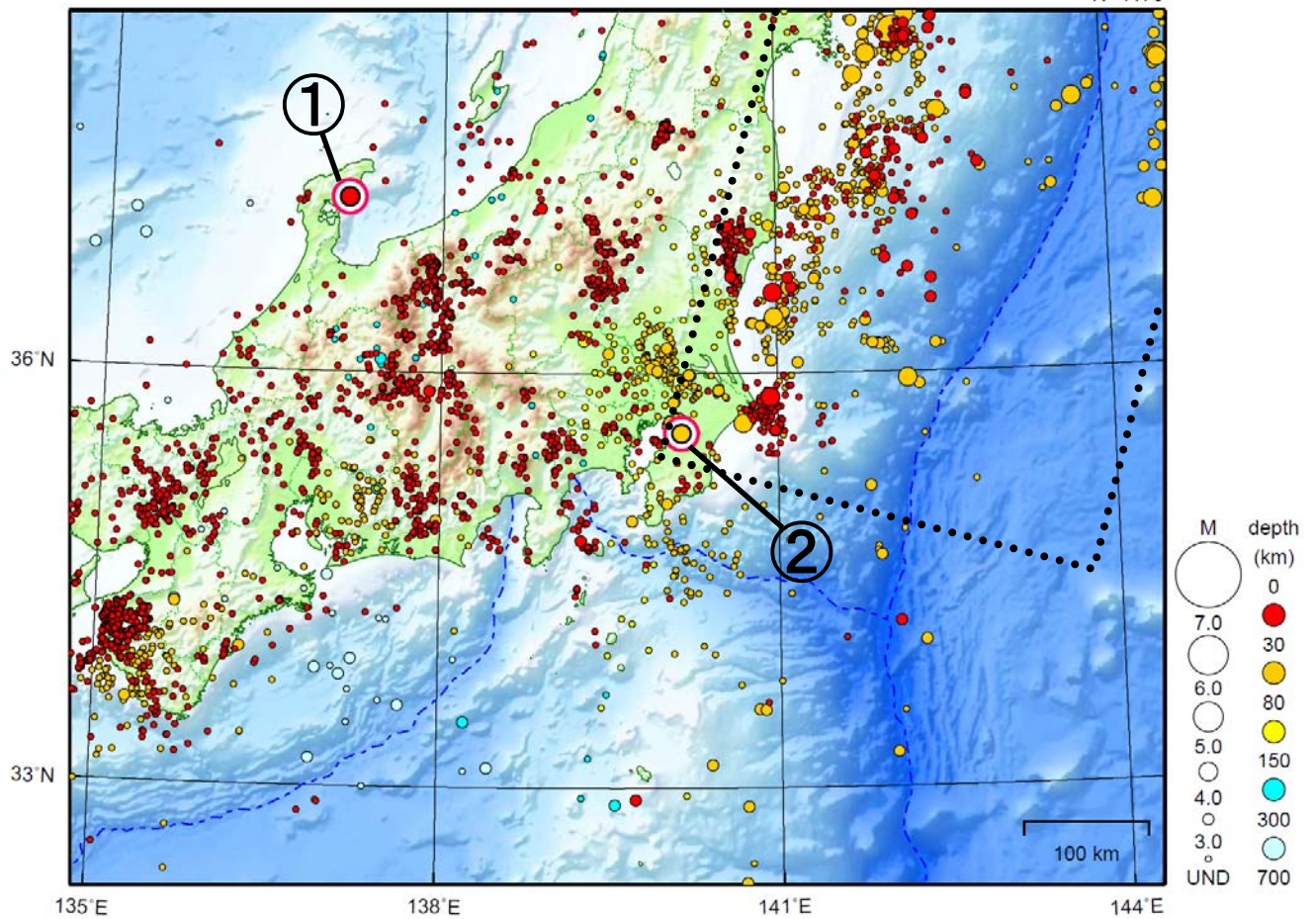


関東・中部地方

2015/02/01 00:00 ~ 2015/02/28 24:00

N=4170



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

① 2月1日に富山湾^{*}で M4.4 の地震（最大震度4）が発生した。

※情報発表に用いた震央地名は〔石川県能登地方〕である

② 2月23日に千葉県北西部で M4.5 の地震（最大震度3）が発生した。

（上図範囲外）

・ 2月25日に鳥島近海で M6.1 の地震（震度1以上の観測なし）が発生した。

（上記期間外）

・ 3月4日に愛知県西部^{*}で M4.6 の地震（最大震度4）が発生した。

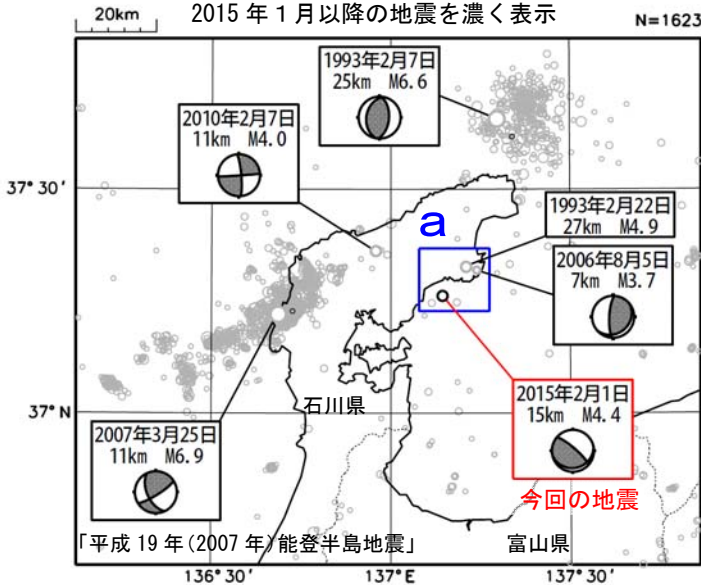
※情報発表に用いた震央地名は〔岐阜県美濃中西部〕である

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

2月1日 富山湾の地震

情報発表に用いた震央地名は〔石川県能登地方〕である。

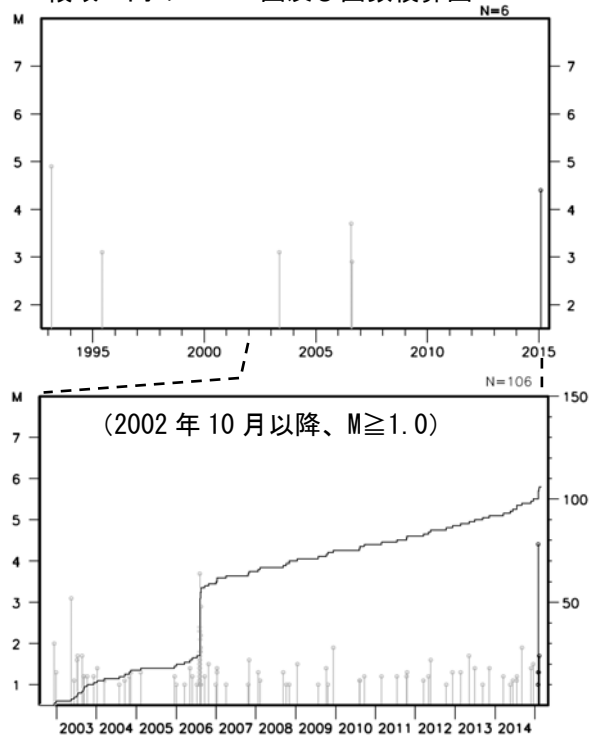
震央分布図
(1993年1月1日～2015年2月28日、
深さ0～30km、 $M \geq 2.5$)



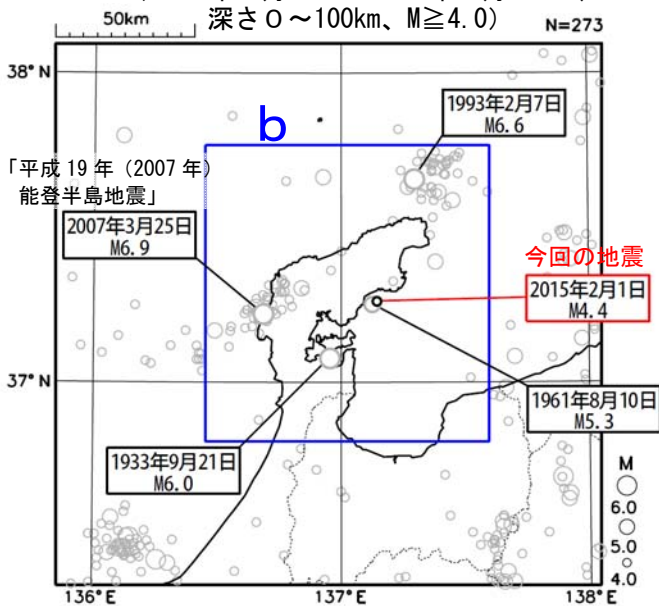
2015年2月1日00時42分に富山湾の深さ15kmでM4.4の地震(最大震度4)が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は北北東-南南西方向に圧力軸を持つ型である。

1993年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域a)は、1993年2月22日にM4.9の地震(最大震度3)が発生したほかはM4.0を超える地震は発生しておらず、地震活動の低調な領域である。なお、小規模ではあるが、2006年8月5日にM3.7の地震(最大震度3)が発生し、その後8月下旬にかけてやや活発な地震活動がみられた。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



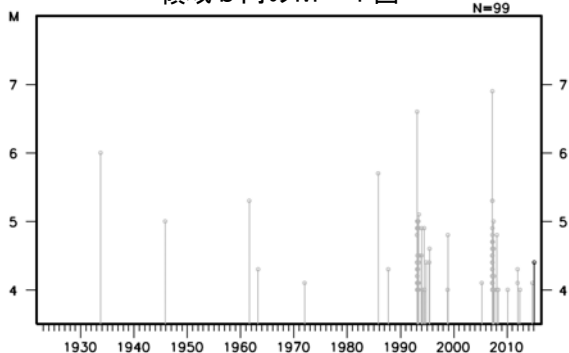
震央分布図
(1923年1月1日～2015年2月28日、
深さ0～100km、 $M \geq 4.0$)



1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、1933年9月21日に発生したM6.0の地震(最大震度4)により、死者3人、負傷者57人、家屋倒壊2棟などの被害を生じた(「日本被害地震総覧」による)。

また、「平成19年(2007年)能登半島地震」(M6.9、最大震度6強)が発生し、死者1人、重軽傷者356人、住家全半壊2,426棟などの被害を生じた(総務省消防庁による)ほか、石川県珠洲市で22cmの津波を観測した。

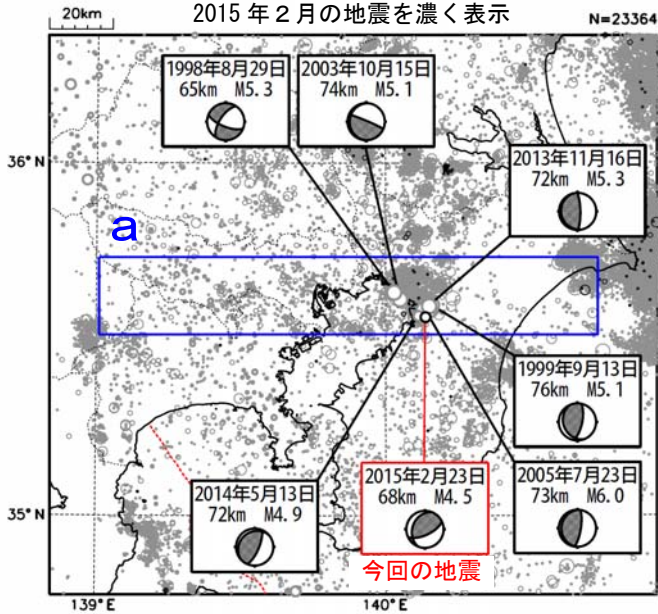
領域 b 内の M-T 図



2月23日 千葉県北西部の地震

震央分布図

(1997年10月1日~2015年2月28日、
深さ0~150km、 $M \geq 2.0$)
2015年2月の地震を濃く表示

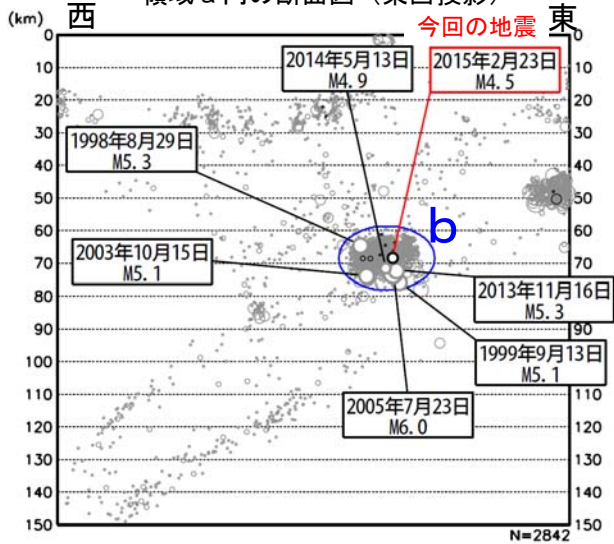


2015年2月23日17時00分に千葉県北西部の深さ68kmでM4.5の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構は、北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

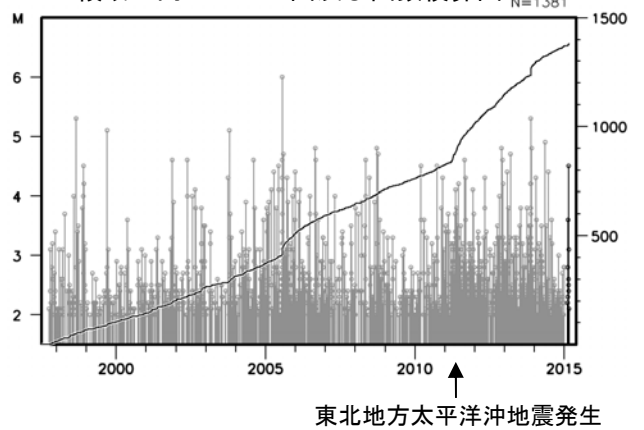
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)は、地震活動が活発な領域であり、M5.0以上の地震が時々発生している。このうち、2005年7月23日に発生したM6.0の地震(最大震度5強)では、負傷者38人、住家一部破損12棟などの被害が生じた(総務省消防庁による)。また、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生以降、地震活動がより活発になっている。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0程度の地震が時々発生している。このうち、1980年9月25日に発生したM6.0の地震(最大震度4)では、死者2人、負傷者73人などの被害を生じた(「日本被害地震総覧」による)。

領域a内の断面図(東西投影)

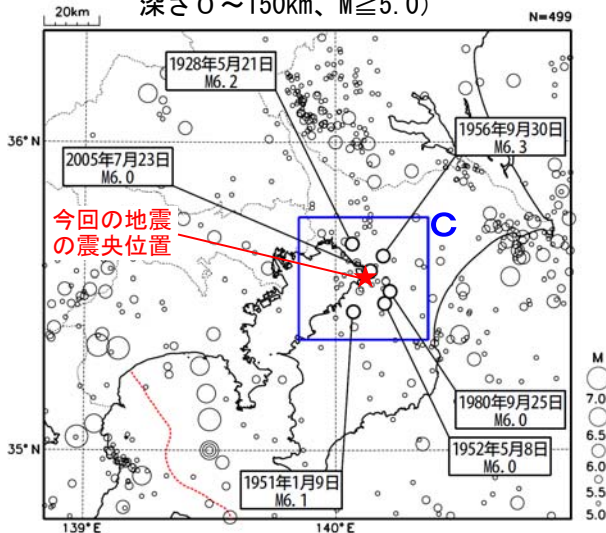


領域b内のM-T図及び回数積算図

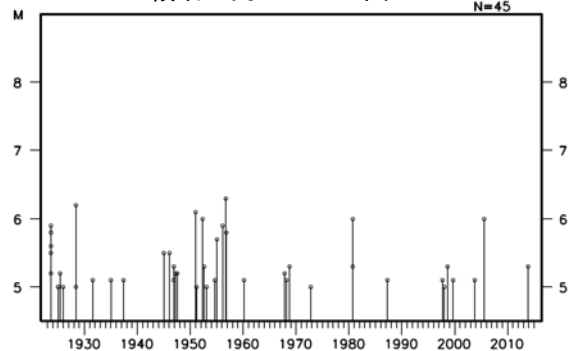


震央分布図

(1923年1月1日~2015年2月28日、
深さ0~150km、 $M \geq 5.0$)



領域c内のM-T図



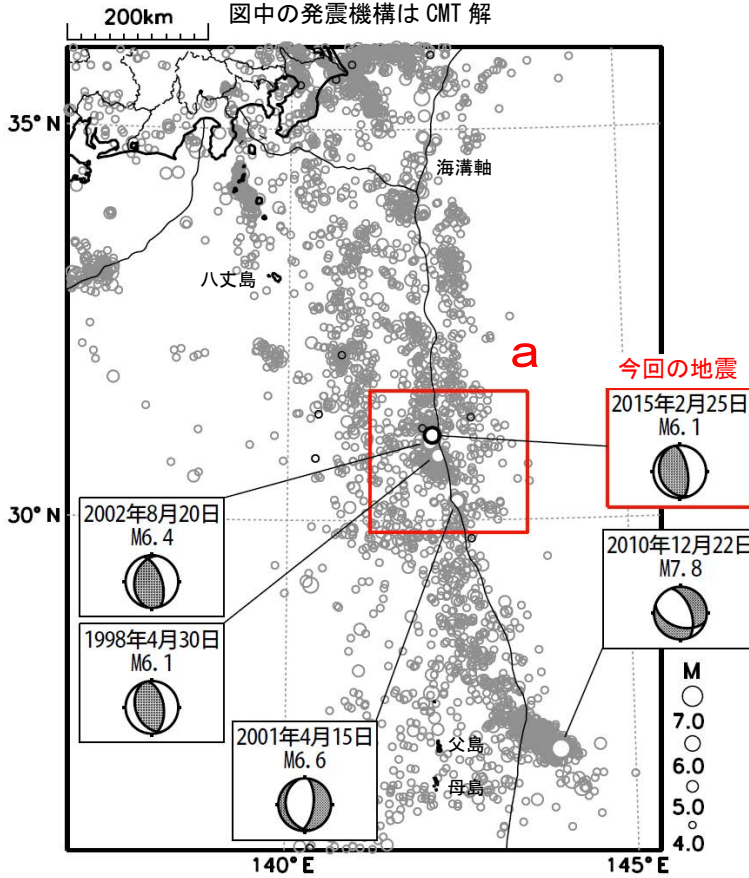
2月25日 鳥島近海の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2015年2月28日、
深さ0～200km、 $M \geq 4.0$)

2015年2月以降の地震を濃く表示

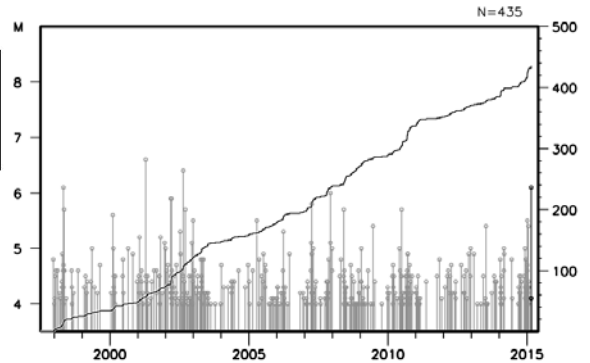
図中の発震機構はCMT解



2015年2月25日16時00分に鳥島近海でM6.1の地震(震度1以上を観測した地点なし)が発生した。発震機構(CMT解)は東北東-西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

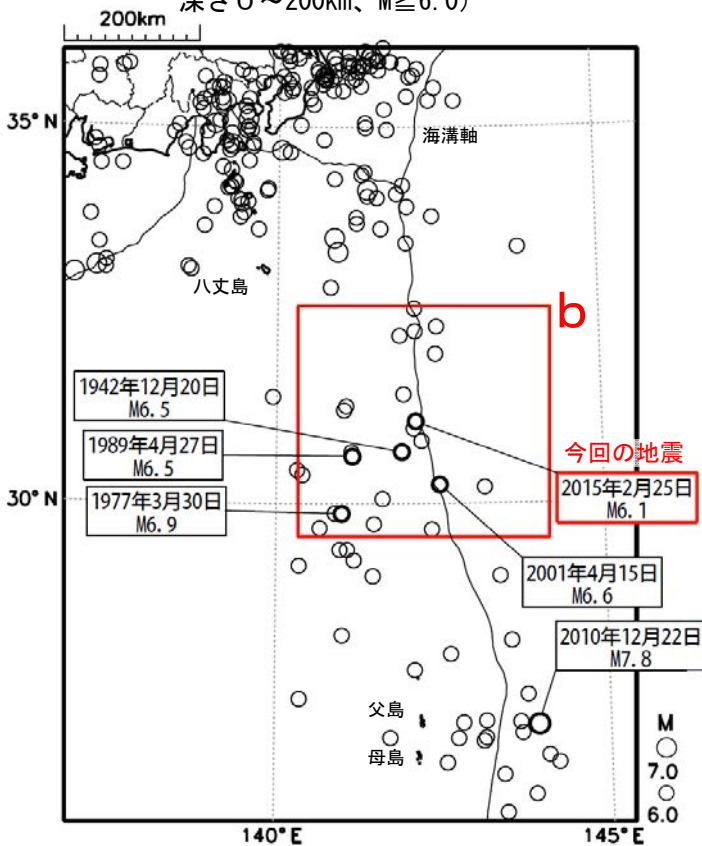
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域a)ではM5.0を超える地震が時々発生している。

領域a内のM-T図及び回数積算図



震央分布図

(1923年1月1日～2015年2月28日、
深さ0～200km、 $M \geq 6.0$)



1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M6.0を超える地震が時々発生しているが、被害を伴う地震は発生していない。

領域b内のM-T図

